

新基地建設反対名護共同センターニュース

安倍内閣は退陣し、総選挙をやり直せ！



4月12日辺野古ゲート前。雨の中全県から約80人が座り込みに参加。午前9時、機動隊が座り込む県民の排除を始めました。参加者は、非暴力で必死の抗議を続けましたが工事車両は300台以上入りました。
へり基地反対協・安次富浩共同代表(写真)はテントで挨拶。「いま、安倍内閣はガタガタだ。本来、嘘で固めた昨年の総選挙をやり直すべきだ。公文書改ざんなどと違法な新基地建設強行の根は一つだ。いま大事なことは翁長知事を県民が一致団結して支え切り、知事選を勝利させることだ。現場でのたたかいかいをもっと強めよう」と訴えました。

公文書改ざんや日報問題と違法な辺野古新基地強行の根は一つ

金秀グループが座り込み

呉屋会長先頭に200人 研修会の一環で



金秀グループ(呉屋守将会長=写真)は5日、幹部研修と新入社員研修の一環として辺野古の座り込みに参加しました。大型バス5台を連れ呉屋会長先頭に200人が、そろいのTシャツを着て辺野古ゲート前と浜のテントを訪問、県民と交流。テント内は、急ににぎやかで壮観な風景に一変しました。

金秀商事製造のサーターアンダギーの差し入れもありました。

200回目の座り込み

うるま市の島ぐるみ会議

うるま市の島ぐるみ会議は12日(木)の座り込みに大型バスで40人が辺野古ゲート前座り込みに参加。2015年1月から通算でちょうど200回目になりました。
同島ぐるみ会議の伊芸祐得事務局長は「木曜と土曜に毎回50人をめざしています。引き続き現場でのたたかいを全県で広げ、翁長知事を支えていくことが重要だ。今日も工事車両が入って悔しいですが、これからの正念場です」と話していました。

革新懇が6月3日に「沖縄連帯のつどい-講演と交流-」開催へ



全国革新懇と沖縄革新懇が来る6月3日(日)に、宜野湾市で「沖縄連帯のつどい」を開催することが決まりました。

共産党志位和夫委員長が講演

- 名称 「沖縄連帯のつどい-講演と交流-」(仮称)
- 日時 6月3日(日) 13:30~16:30
- 会場 沖縄市コンベンションセンター(地図参照)
〒901-2224 宜野湾市真志喜4-3-1 TEL098-898-3000
- 内容 ○講演「沖縄の基地問題の現状と展望を考える」
日本共産党 志位和夫委員長(全国革新懇代表世話人)
○沖縄と全国からのたたかい、連帯支援の報告と発言
- 主催 全国革新懇 沖縄革新懇
- 共催 安保破棄中央実行委員会 沖縄県統一連(要請中)